

2024.9.26 (木)
第 12 回例会
(通算3774回)

2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人
副会長 吉田 英一
幹事 東堂 光春
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2024-2025 年度
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度
R1会長 ステファニー A. アーチック
第 2500 地区ガバナー
小谷 典之 (帯広西 RC)

本日のプログラム 情報集会報告会 (クラブ研修委員会)

次週例会 会員卓話「がん検診受診をオススメするワケ」(プログラム委員会)

- ロータリーソング：我らの生業 ■ ソングリーダー：沢田 和泰君
- 会員数 105 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間 高橋 直人会長

皆さま、こんにちは。今日は、9月21日から22日に開催されました地区補助金を活用した『釧路湿原国立公園魅力を知る再発見する学びのツアー』についてお話させていただきます。この場をお借りして、この事業にご尽力いただきました当クラブ木下パスト会長をはじめとして、八幡理事、社会奉仕委員会の皆さま、本当にありがとうございました。お礼申し上げます。



朝、釧路湿原展望台に集合して、小学生の他に大学生、留学生、一般の方々を入れて両日で100名を超える参加者となりました。展望台を見学した後、温根内ビジターセンターに向かい、通常では立ち入ることのできない釧路湿原の中に行き、胴長を着用して小学生他、参加者全員が湿原の小川、湿地帯に足を踏み入れました。そこで釧路湿原がなぜあまり植物が育たないのかを学びました。その原因は、小川近くの水は8pHですが奥に行くと5pHで、そこは20年ぐらいで全ての植物が枯れてしまうということでした。

終了後、湿原展望台に戻り、昼食を済ませた後、猛禽類医学研究所に向かいました。スクリーンを見ながら、獣医師による猛禽類保護活動の説明を受けました。猛禽類はピラミッドで例えると、一番頂点にいる鳥類な

ので、ケガや事故で飛べなくなってしまった鳥を放置していると、絶滅してしまう可能性がある。ケガなどの連絡があると、遠くは700キロ先の町まで保護に行き、こちらの研究所でケガの治療をして自然界に戻す活動をしております。しかしながら、全ての猛禽類が全治することはできません。障害の残った鳥類は研究所で、猛禽類の事故等が起きにくくなるような風車開発実験に働いていただいているそうです。

子どもたちも質問し、素晴らしい学びにつながったのではないかと思います。その後、研究所を見学し、鳥取神社さんで振り返り学習をして、ツアーが無事に事故なく終了しました。

後から聞いた話なのですが、鳥取小学校の生徒は、このような学びを数年前からやっており、全国の学力テストでも上位20位に入っているようです。

お願いを兼ねたお知らせをいたします。2750地区宮崎陽市郎直前ガバナーが、ポリオ根絶活動に一層の周知のために一昨年に続き、今年も10月1日に日本本土最東端の根室納沙布岬を出発し、10月22日に最西端の佐世保神崎鼻のゴールを目指してポリオ根絶を願って、2800キロのサイクリングチャレンジを行います。2500地区第7分区でも出発に合わせて、お見送りするようお達しがございました。10月2日、当釧路センチュリークラブを午前8時にスタートしますので可能な限り当クラブ会員の出席をお願いいたします。詳細は、東堂幹事からこの後、メール発信しますので何卒多くの方の参加をお願いいたします。

以上をもちまして、本日の会長挨拶を終わらせていた

だきます。今日も楽しい例会にしましょう。よろしく
お願いします。

幹事報告 東堂 光春幹事

皆さん、こんにちは。幹事報告です。午前中、地区
大会の詳細メールを流しました。配車予定案を流して
いただきましたので、車の配車体制など変更がありま
したら、副幹事までご一報いただければと思います。
国際大会カルガリー大会が6月21日にあって、「北
海道ナイト」が2500地区と2510地区合同で開催さ
れることになりましたので、カルガリーへ行く予定が
ある方は日程の調整、確保をよろしく願います。
詳細はホワイトボードの方に貼っておりますので、後
ほどご確認下さい。

■本日のプログラム■ 情報集会報告会

クラブ研修委員会 杉村 莊平委員長

皆さま、こんにちは。研
修委員会の杉村です。今日
は研修委員会主催で、過日
行われました情報集会の報
告例会となっております。
9月10日から18日の間、
AグループからIグループ
の9グループで『90周年に
ついて大いに語ろう』を
テーマに活発な議論を交わ
されたと聞いております。ぜひ、その生の声の報告を
していただければいいと思います。今日は、Iグルー
プから行きたいと思います。
三役の皆さまにご協力いただき多少、時間に余裕があ
る形でスタートできますので、早くやり過ぎて時間
余ったとか駆け足し過ぎたということがありますが、各グル
ープが3分くらいで終わらせていただければ
と思います。よろしく願います。



Iグループ 石井 孝行君

サブリーダーの佐藤さん
がお休みということで、私
が代わりに発表します。
テーマ「90周年に向けて」
に際し、クラブ研修委員会
の後藤オブザーバーから
「各論あり、総論ありの屈
託のない意見の場としよ
う」という挨拶でスタート
しました。



80周年の状況を再確認しつつ、記念事業、記念式典、
懇親会等について話し合いました。「日々の活動はも
ちろんなのですが、周年記念においては、ロータリー
会員以外にも貢献できる内容が好ましいのではない
か」という意見が出ました。「形に残る貢献、奉仕な
ども視野に入れてはどうか」と。いわゆる寄付、寄贈
に値するもの、これは今までの釧路クラブではやって
こなかったと聞いておりましたので、こういうことも
視野に入れて選択肢のひとつにしてはどうでしょ
うか、という話も出ました。この2点を共有し、ディス
カッションを実施しました。

様々な意見交換の中、印象深い内容としましては、進
行形でありながら、明確な方向性をまだ見出していな
いと思われるスポーツ振興に関わる、例えば「アイス
ホッケーの復活と向き合いにリンクする記念事業」と
いった意見や「ロータリー文庫を設置することで市民
貢献をしてはどうか」など具体性のある意見も活発に
飛び交いました。

集会終盤に向けて、記念式典が2026年の10月から
11月あたりに行われるであろうことから、来年度は
実行委員長の選出から始め、組織を構築することの重
要性を感じていたところ、「90周年のゴルフコンペを
開催するのであれば、私が部会長を務める」と米本リー
ダーより立候補がありましたことを付け加えさせてい
ただきます。

総論・各論、雑談が活発に飛び交ったIグループの情
報集会でした。以上になります。

Hグループ 桑嶋 洋平君

Hグループでは、樋口さ
んがリーダーで9月10日
に『めぐりあい』で情報集
会を開催しました。9人が
参加されたと思います。意
見交換のテーマが再来年の
『90周年に向けて大いに語
ろう』となりました。
意見交換に先立ち、80周年
のプログラムの振り返りが
ありました。それを踏まえて話し合ったのですが、主
にふたつについて意見交換がされたと記憶していま
す。

ひとつが記念講演です。平成28年の80周年の際に
行われた記念講演を90周年の時にもするのかどうか
について話し合いました。そのために80周年を振り
返ると、教育をテーマに東進予備校の釧路市出身の志
田晶先生が『親と子のための数学教育』についてお話
をされています。会場は生涯学習センターの大ホール
で行いまして、集客面での苦勞がありました。記念講
演を行う場合に、こういった方に依頼するのか、集客



面などについてもいろいろ意見が出ました。その上で、参加した方々からは、「90周年をどういう方針で行うのかを今後、会長から大方針が示されるのを受けて、記念講演を行うかどうか、その場合はテーマをどうするかを検討を深めた方が良いのではないか」という意見が出ました。

もうひとつが記念事業についてです。それについては、「釧路を、道東を盛り上げる、これを釧路ロータリークラブが後押しして行くようなことを目指してはどうか」という意見が出ました。参加者の一人一人から様々な意見やアイデアが出されました。特に釧路は冷涼な気候を生かして、夏場中心に全国から避暑とか脱花粉の長期滞在で大勢の方が来られます。釧路市のまとめを調べたら令和5年度で、1442組2026人が訪れています。のべ滞在日数も25,148日と年々滞在者も滞在日数も非常に増えている中で、滞在される方のニーズを広く汲み取っていくことが地域貢献につながるのではないかと指摘もありました。一方で、長期滞在する家族とともに滞在するお子さんの勉強を見てくれる所がないのではないかと課題の指摘がありました。

記念事業としては、こうした釧路を盛り上げる、道東を盛り上げるという視点で家族とともに長期滞在する子どもの勉強を見てくれる場とか、早朝にお寺を開放するとかを含めた地域貢献の取り組みをロータリークラブとして応援していく、そういったことを検討してはどうか、という意見が出ました。以上、Hグループでした。

Gグループ発表 藤原 工君

Gグループはお医者さんの方がたくさん集まるグループで、なぜか日本生命の私選ばれています。どうしてと思いながら参加させていただきました。

Gグループでは「90周年に向けて」についての話と、いま現在の釧路ロータリークラブはどんな感じなのか、のふたつを1時間ほど話させていただきました。

90周年に向けてでは、70周年、80周年の振り返りを行いつつ、90周年はどのようにしましょうかの意見交換でした。Hグループでもありましたが、記念講演会を行うとなった時の集客力を求めるために、講師の方では有名な方を呼ばないと動員に苦労してしまっ、「パツとしなかったな」となってしまっても困ります。「誰でも知っている著名人を呼ぶべきでないか」という話がありました。

続いて、記念事業の話です。国際貢献という中で言



いますと、いろいろな基金とかがあって釧路ロータリークラブとしての支出が少なく済むかもしれないということです。ここで前後しますが、「釧路ロータリークラブがこれまで釧路・道東にどのように地域貢献して来たのかを90周年で出したらいいのではないか」を含めて話が白熱しておりました。

工藤リーダーから「釧路クラブが今までどういったことを地域で行って来たかを、例えば、ゴミ拾いなど分かりやすいところから始めて、何ができてきたか。それが地域住民に浸透しているのかどうかをロータリーの中で話し合ってみて明確化してみるといいのではないか」と。これが、釧路ロータリークラブが90周年、100周年と続いて行くうえで必要ではないかと、みんなが賛同したところでした。

さらに、石田さんからは、「釧路クラブがここまで大きくなってあるのは、派閥などがなく、歴史と伝統を積み重ねて来られたのはなぜなのか。明確なボスがない。みんなが平等で一律に行き行ける、リーダーシップをとる人がいても誰かがボス感を出して何かをするクラブでないからこうなっているのではないか。もし、ボス感を出すような人がいたら、大先輩がストップをかけてくれる秩序があって釧路ロータリークラブが成り立っている」と話していただきました。

最後に、「90周年とか100周年に向けて会長を決めたらどうだ」となって、酔ったうで「〇〇」と名前も出ていましたが、ここでは伏せさせていただきます。気になる方は、個別にご相談ください。以上です

Fグループ 中島 徳政君

サブリーダーの堀君が本日、出張のため欠席ですので、代わってリーダーの私から発表します。

Fグループはメンバーが4人、情報委員の滝越さんをいれて5人の少人数でお話をさせていただきました。

堀君の会社の融資部という封筒で発表内容をまとめたものが来ておりますので、それを読ませていただきます。

冒頭に滝越委員からテーマの説明があり、乾杯の後に議論となりました。

ひとつ目は、釧路の街に元気がない。人口も減少している。何かできることはないかが話題となり、著名人を呼んで講演をしてはどうかとなりました。誰を呼ぶのが問題ですが、芸人・お笑い芸人を呼んで釧路を盛り上げる。または、今年オリンピックがあったことから、スポーツ選手を呼んで元気を与えてもらうのはどうか。それとも経済に精通する方を呼んで釧路



の経済をどうしたら活気が出るようになるか。などの意見が出ました。

ふたつ目は環境問題。釧路湿原という大自然がある中でソーラーシステムがあらゆる所にできて来ている。生態にも影響が出ているのではないか。湿原ツアーなどが開催されているがもっと幅広い市民に湿原を見ていただき、釧路湿原の良さを理解してもらおう活動をしてはどうか。釧路ロータリークラブが市民を巻き込んで環境問題に関心をもってもらうことがいい、という意見が出ました。

三つ目、北大通の問題。釧路のメインストリート・北大通では多くの店舗が閉鎖されていて、市民は元より観光客も見所がないのが現状です。ロータリーとしてできることは限られていますが、「せめて明るい街角にするために植樹をする。夜は灯りを灯す装置を寄付するなど、メインストリートから元気にしてはどうか」という意見がありました。「効果があるのであれば他の商店街に広めて行くことも考えられる」という意見も出ました。

まずは、釧路の街を元気にしていくことをみんなで考えることが重要である、という意見で話し合いを締めました。

当日は、『ぎゅう太』さんの奥様に対応していただき、大変美味しいお肉でご馳走になりました。予算以上のお肉を提供していただき誠にありがとうございました。次回もよろしくお祈りします、と堀さんは言っております。

以上、Fグループでした。

Eグループ 川島 勝典君

Eグループの話し合いの概要をご説明します。メンバーは、リーダーが岩田さん、サブリーダーは私、白幡パスト会長と吉田秀俊パスト会長、オブザーバーとして後藤直前会長に来ていただきました。結局5名と少ない人数で、忌憚のない意見交換ができました。みなさんで本音を言い合える素晴らしい集会でした。あまりにも本音が出てオフレコになったところもあります。

結論から言いますと、90周年のテーマを一言で言うと、「縁(えにし)」となりました。これには、いろいろな意味が含まれていますが、人と人とのつながり、絆を大事にするということではないかと思えます。ロータリークラブへの入会をきっかけに、末永いお付き合いが始まるのですから90周年を機に、これを更に強固なものにして行ければ、というのが集会で話し



合った大まかな内容です。

具体的にご説明すると以下のとおりですが、冒頭で出たのは縁とは関係のないことでしたが、「90周年という節目の年に合わせて、ガバナーをエントリーしてはどうか」という提案もありました。そのためには、今から入念に準備する必要がありますし、本気で取り組むとしたらしっかりしたすり合わせを今からしなければなりません。という意見が出ておりました。

話を縁に戻して、過去に在籍していた転勤者のメンバーを祈念式典に呼ぶのはどうか。わずか2~3年で転勤のために退会する人がほとんどですが、せっかく知り合えた縁でもあるし、その方々が全国に散らばって、赴いた先々で釧路の良さを宣伝してくれているはずですからというのが理由で、そのような人たちの縁を大切にしたい、ということです。

私も転勤者で私が言い出したわけではありませんが、これを聞いて感激したところです。

ふたつ目です。「釧路ロータリークラブの奉仕活動の根幹をなす嵯峨記念育英会の奨学金を得て卒業していったOB、あるいはOGを招待して、近況報告や今後どうしたいのかなどを話してもらおうのはどうでしょうか」という意見がありました。

大勢の前で話すことが苦手な人もいますし、この場所に来ること自体が億劫に思う人もいるでしょうから、ハードルが少し高いかもしれませんが日ごろから参加しやすい環境づくりが必要と思います。大変かもしれませんが名簿などを利用して、現在の所在をつかんで、例えば、野球大会やアイスホッケーの大会にお手伝いという立場で参加してもらって、自分の後輩とか、そこにいるロータリーの会員と接触する機会を増やすことで親交を深めてお互いに話しやすい雰囲気を作り出すことが一例として出ました。

とにかく、「入学と卒業する時の2回だけではなく、何回も顔を合わせる機会が必要で重要ではないか」という意見にたどり着いております。

以上、Eグループの結論となります。物を作るよりも人を育てるほうに重きを置いて活動することが基本的な考え方でありました。人と人とのつながりが希薄な今の時代だからこそ、縁を大切にしたいと強く感じられた情報集会でした。

Dグループ 沢田 和泰君

9月18日に『はたごや』で開催させていただきました。参加メンバーは12名で、今回のグループでは一番参加者が多いグループと聞いています。

リーダーは甲賀さんに努めていただきました。参加メンバーは、吉田潤司パストガバナー、小船井パストガバナー、青田パスト会長、関向さん、横田さん、森村さん、得地さん、亘理さん、鈴木さん、それにクラブ研修委員の後藤直前会長です。年齢幅の広い、いろ

いろな業種の方が12名集まってスタートしました。

年齢差は31歳、入会歴は昭和51年の入会の方から令和6年7月入会の方まで、44年の入会歴の差があつて幅の広い年齢と業種で、釧路ロータリークラブの情報集会だなと感じました。



メンバーで「90周年に向けて大いに語ろう」とスタートしましたが、令和入会の方が半分くらいいて、80年、70年を経験した人が少ないことからなかなか話が盛り上がりませんでした。甲賀リーダーの「JALマイレージが貯まっている」という雑談からスタートして心配したのですが、そこは、小船井パストガバナーが歴史の話をして、80周年、70周年の話の導き出してくれまして、そこに吉田潤司パストガバナー、青田パスト会長が「70周年、80周年ではこんなことを行った」や当時のエピソードを話していただいて、話が弾むようになりました。

入会歴の浅い方に発想がないことから、そういう経験を聞くことで、思いを巡らせることができたと思います。

お二人は記憶力がすごくて、周年事業の細かいエピソードまで覚えていて、私は釧路ロータリー愛を感じておりました。

意見交換会では、「これまでの周年事業は講演を行ったり、物を寄贈するなどパターン化されているのでは」という話があつて、「何かを寄贈するにしても本当に必要な物、使っていただける物を寄贈するのがいい。送り先を先に決めて、ほしい物を言うていただく方法もある」という意見もありました。

90周年は「新しいことにチャレンジしてはどうか」「これまで行ったことのない大胆なことを行うのがいい」という意見が出ました。「90周年の先の100周年を見据えて、未来のクラブを考える必要がある」という意見もありました。

「やはり、釧路ロータリークラブは地区の代表クラブでもあり、なにかを先駆けて変えて行くことを釧路ロータリークラブが行うべきだ」という意見がありました。

「90周年を見据えて、個性、多様性が重要視されていますが、そこを重視して行くことも必要だ」という発言もありました。

私たちのグループでは、何を行うという具体的な内容を示すことはできませんでしたが、入会歴の浅い者にとっては、90周年、100周年に向けて想像するいい機会になった集会でした。

最後に、吉田パスト会長から「俺たち先輩を大切に

しなさい。そして、継続していくことが伝統や思いやりのあるクラブになる」と。最後に「今日はいいい情報集会だったな」という言葉をいただいて参加メンバーが胸をなでおろして集会を終えました。

以上、Dグループの発表でした。

Cグループ 原 智則君

9月13日、『串焼ワインバル 華蔵』において、水口リーダーの下、滝越研修委員同席で9名のメンバーで情報集会を行いました。

私がサブリーダーとして会費を集めたのですが、会費とは釣り合わない豪華なコース料理が出て来て、美味しいお酒とともに楽しい時間を過ごしました。90周年に関する内容が薄かったのかなという会でしたが、とても盛り上がることができました。



「モニュメント」という意見が出ました。「ロータリーの坂の上の草を刈り取って、そこにドーンと記念碑を建てたらいいのではないか」という意見がありました。

懇親会ですが80周年のときには、皆さんがネクタイを揃えてお迎えをしたそうです。「90周年はポロシャツを揃えたらいいのでは」の意見に、「ポロシャツは寒いのでトレーナーじゃないか」もありましたが、「トレーナーは失礼なのでジャケットを揃えて、裏地にこだわる『I商事』さんをお願いすれば、右側に『90』、左側にロータリーのエンブレムを入れて安くできるのではないか」と。裏地を揃えてもあまり意味がないのではと思うのですが、そのような意見がありました。

記念講演の講師です。意見は全然出て来なくて、話が「会長の専権事項だろう。会長を決めよう」に移ってしまいました。高橋会長がメンバーとしている中で、自由気ままにいろいろな名前が出てきました。N君とか、H君、いやK君とかで、「HG君でまとまった」という報告案が出ましたが、私は誰のことか分かりません。そのような話の中で、高橋会長はどんなに振られても終始「我、関せず」の対応をされていたのが印象的でした。

そのうちに、「90周年は100周年の前段ではないか」となつて、集会にいた若手のY君に「君は会長だから、このように行こう」みたいな話に終始しました。「〇〇君が一步先を行っているから頑張らないとダメだ」という話となつたりして、なにかにまとまることはなかったのですが、美味しいお酒とお料理で楽しい時間を過ごすことができました。

Cグループからは以上です。

Bグループ 佐々木裕章君

9月18日、『朴然』で開催しました。朴然さんを経営される谷川さんも出席されて、美味しいお肉とお酒を出していただき、シャンパンで乾杯をして始めました。

前田さんがリーダーで、テーマ「90周年を大いに語ろう」で意見をたくさんいただきましたが、お酒が入ると楽しくなって、いい会合でした。

出された意見では、「他県の集会に参加をした時に、女優さんや大手企業の社長さんを招いたことがあったので、著名人を呼ぶのがいい」がありました。紋別の70周年に参加した時は「カニの食べ放題だった。物まねコンサートだったので、90周年の場を盛り上げ印象を深めるためにコンサートがいい」「歴代会長を紹介するセレモニーをやってはどうか」「飲食の経営者もいるので、その店の特別ブースを用意する」の意見もありました。

10年以上入会されている方も多いので、「歴史と伝統のある釧路ロータリークラブですから過去の周年でどういうことがあったかを参考にしておこう」の意見がありました。

締め、谷川さんの挨拶がありましたが、アイスホッケーを通じた青少年の育成で、これからの釧路の未来



に向けて青少年奉仕委員会や奉仕活動の活性化が90周年に向けた活動としてつながって行くのだろうと感じました。

個人的な意見として、私は入会して1年半になりますが、初めて情報集会に参加させていただきました。皆さんは釧路ロータリーに対して、釧路市に対して、すごく熱い思いがあるのだなと思いました。年齢に関係なく、分け隔てない雰囲気の話ができるのが釧路ロータリークラブの良さだと感じました。

報告は以上です。ありがとうございました。

Aグループ 東堂 光春君

柿田リーダー、残間サブリーダーがいらっしゃらないのを今、知りました。Aグループは杉村研修委員長と6名で行いました。

90周年に向けて何をするかということで話しました。時間が無くなってしまいましたので割愛させていただきます。ありがとうございました。



本日のニコニコ献金

- 村上 祐二君 早く来すぎて石田さんの所に車を停めてしまいました。すみません。
- 得地 哉君 先週 細かな手持ちが少なかったので、追加ということで。
- 小野寺 俊君 ロータリーマスターズゴルフ 釧路クラブで2連に貢献してしまって。すみません。

今年度累計 120,000円